

## 《平成24年度 留学生スタディーツアー（紅葉観賞と防災学習）を実施しました》

(1)日 時：平成24年11月17日（土）  
7：30～18：00

(2)見 学 先： 埼玉県立「川の博物館（かわはく）」  
（埼玉県大里郡寄居町小園 39）  
長瀬ライン下り（埼玉県秩父郡長瀬町長瀬 489-2）  
埼玉県防災学習センター（埼玉県鴻巣市袋 30）



(3)参加費用：参加料金は本協会にて負担しました。

(4)参加人数：24名

※中国5名、スウェーデン5名、タイ4名、モンゴル2名、ベトナム2名、  
メキシコ・ブラジル・スイス・韓国・台湾・カンボジア各1名

(5)実施状況：

心配されていた天気もなんとか持ちこたえ、東京・駒場の本協会より貸切バスで埼玉方面へ向かいました。まず埼玉県立「川の博物館（かわはく）」を訪問し日本の河川について学びました。館内には鉄砲堰、船車、荷船などの大型復元模型が設置してあり、写真を撮ったり実際に乗り込んだりして楽しんでいる姿が見受けられました。また、同館内の「アドベンチャーシアター」では、一粒の水になった視線で3D映像「荒川・森と海を結ぶ旅」を鑑賞し、身近な荒川についての理解を深めました。特に毎年のように洪水被害に悩む国からの留学生にとって、日本の河川にまつわる歴史や変遷は大変興味深かったようです。



午後からは、参加者が最も楽しみにしていた「長瀬ライン下り」に乗船しました。あいにく小雨が降り始め、舟に屋根を付けての出発でしたが、ちょうど紅葉が見頃を迎えており、美しい景色に歓声が上がりました。母国の木は一年中色が変わらないなど、紅葉を見に出かけたのが初めてという留学生もおり、日本の秋の素晴らしさを十分に伝えることができました。

最後に訪問した防災センターでは、災害への対応の仕方を地震体験や消火器を使った訓練を通じて、楽しみながら学ぶことができました。万一の災害時には、今回の経験を思い出し、冷静な対応ができれば幸いです。

